

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 卵巣癌における SLFN11 のプラチナ系抗癌剤の効果予測と細胞診断への応用

研究の目的

卵巣癌は婦人科癌において比較的予後の悪い癌種です。進行卵巣癌や再発卵巣癌において標準的な治療法はプラチナ系抗がん剤や PARP 阻害剤などの DNA 傷害剤です。これらの薬剤の効果を予測するマーカーとして SLFN11 の有用性を証明することが本研究の目的です。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2028 年 3 月 31 日

対象となる方： 2019 年 4 月 1 日から 2027 年 9 月 30 日までの期間、当院産科婦人科にて初回治療を行った、または今後行う卵巣癌及び卵巣境界悪性腫瘍と診断された患者様。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院で行った手術検体の組織標本や腹水細胞診の一部を研究に使用します。また、当院電子カルテに記録されている情報のうち、治療開始時の年齢、既往歴、腫瘍マーカー (CA125)、治療経過 (使用抗癌剤の奏功や予後等) の情報を使用します。また、BRCA や HRD 等の遺伝子検査を行った患者様に対しては同情報も利用します。具体的には SLFN11 の発現情報と、患者様の予後や治療の奏効率、遺伝子変異の有無等を比較します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して (これを匿名化といいます) 行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者様 / その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者様の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科講座 水沼慎人	
	電話	0172-39-5107 (弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座)